

目標達成計画

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	職員全体として、身体拘束についての知識や共通理解度が低い。	身体拘束を正しく理解し、利用者が行いたい事に対してサポートできる環境や、職員としての意識を持つ。	外部で行われる身体拘束の研修に参加し、学んできた事を内部研修等を利用して、全職員へ伝えていく。	1年
2	13	運営推進会議は定期的に行っているが、地域との連携作りとまではいたっていない。緊急時等の協力体制が確立されていない。	施設と地域のつながりを深め、もしもの時に協力し合える関係を築き上げる。施設として地域に何を還元できるか考える。	運営推進会議を通して地域の方々と話し合いを重ねていく。町内の活動があれば積極的に参加し、地域住民とのつながりを深めていく。	1年
3	11・33	外部研修に対する取り組みが少ない事から、職員のスキルアップを図れない状況である。	多くの職員を外部研修に参加させていく事で、施設としての介護技術の向上や、職員のスキルアップにつなげていく。	外部研修計画を立て、定期的に職員を外部研修へ参加させていく。参加した職員は、内部研修を通じて自分が学んだ知識を全職員へ伝える。	1年
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。